

海岸防潮堤等整備に関する市民説明会及び意見交換会  
(大川河口～大橋、神山川河口～神山橋)

■日時 平成24年7月18日(水)18:30～

■参加者 約 200 名

■主な意見

- ※ 気仙沼土木事務所が管理する河川へは次のような意見が出されました。
- ・南小学校付近の津波痕跡はレベルであるが、堤防計画が上流に向け低くなるのは何故か。  
→今次は L2 津波であり、堤防整備は L1 津波に対応するもので減衰により低くなります。
  - ・曙橋を境界に、T.P.+7.2mから T.P.+5.0mに急激に高さが変わるのは何故か。  
→シミュレーションによるものです。高さのすりつけは 6%の勾配で急激には変わりません。
  - ・堤防高さについて、気仙沼大橋の橋面を基準としてどれくらいになるか。  
→気仙沼大橋の橋面から、マイナス 1.2m程度となります。
  - ・神山川の堤防拡幅に伴って、渋抜川との取り合い部分についてはどうするのか。  
→形状等について市と検討していきます。
  - ・神山川脇の市道は、堤防嵩上げに伴って移設するのか。  
→市と調整して、新しい堤防の横に移設するか、天端を通すかを検討します。
  - ・堤防を高くした場合、内側の水が抜けにくくなるのではないか。  
→背後地の土地利用や排水計画に併せ、樋管設置等の対応を検討していきます。
  - ・いつになったら詳細の計画が決まるのか。  
→次回の説明会で、影響範囲、市道の位置等、詳細の図面を示します。
- ※ 他の海岸管理者等に対しては次のような意見が出されました。
- ・堤防は L1 対応、土地区画整理は L2 対応としている考え方の区分けはどうなっているのか。
  - ・道路を隔てただけで、災害危険区域が変わる等、シミュレーションについて納得できない。
  - ・ハードとソフトとの組合せと言っているが、ソフト対策の説明が行われていない。
  - ・避難勧告が出る渋抜川の対策を行って欲しい。

